八代市坂本支所周辺まちづくり学識者懇談会の検討結果について

1　検討結果

（１）土地利用計画は、県道より山側に支所等やまち機能を集約する案が望ましい。

（２）建物配置パターンは、敷地条件等を踏まえ、引き続き八代市で検討を行うこと。

≪主な理由≫

・河川の洪水に対する安全性が高く、従来の生活サービス拠点と一体的に整備されることにより利便性も高い。創造的復興を進める観点から、新たなまちづくりとして相応しいため。

（附帯意見）

（１）土地利用計画について

・イエローゾーン（土砂災害警戒区域）への対応について、検討を行うこと。

・新しく架かる坂本橋の高さ及び県道の改良（付け替え）等については、今後も国、県と協議を行うこと。

（２）建物配置パターンについて

・Ｃ案は最終的な案として検討すること。

（その他）

①坂本駅周辺の県道河川側沿道の土地利用について

これまで支所等が立地していた坂本駅周辺の県道河川側沿道に賑わいの創出や将来のまちづくりへ向けて、インキュベーションゾーン※として検討すること。

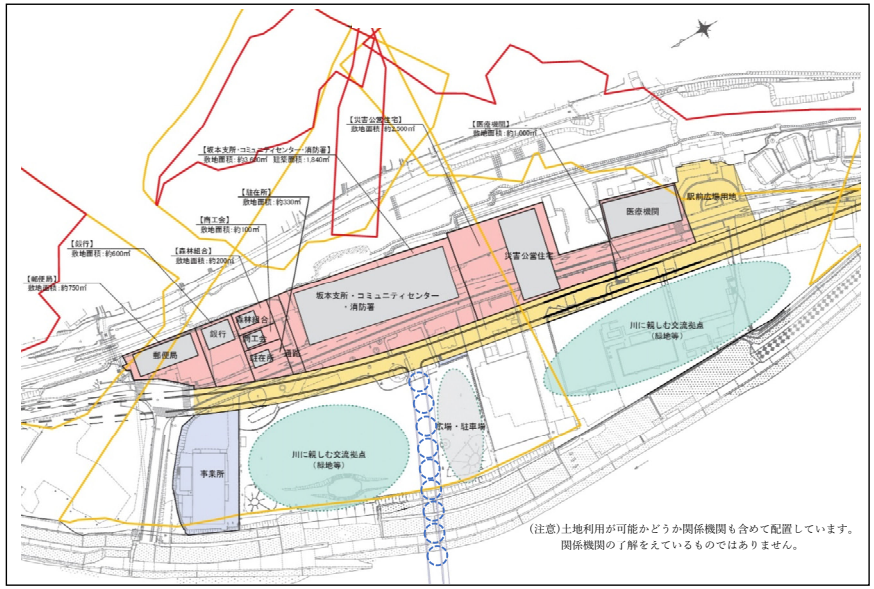
②川に親しむ交流拠点の機能について

洪水等の状況認識を阻害しないような整備を検討すること。

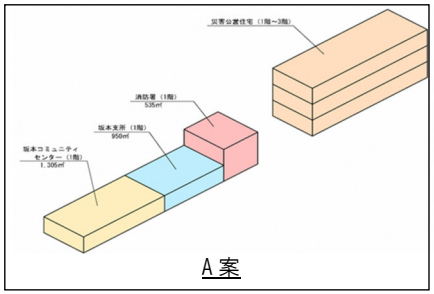
（河川の増水状況等の視認性を確保できる機能を検討すること。）

※起業や新事業の創出を支援し，その成長を促進させるエリア。

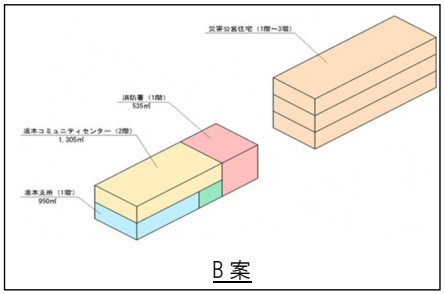
（土地利用計画イメージ図）



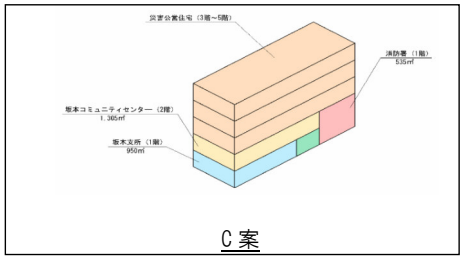
（建物配置パターン図）



A案



B案



C案